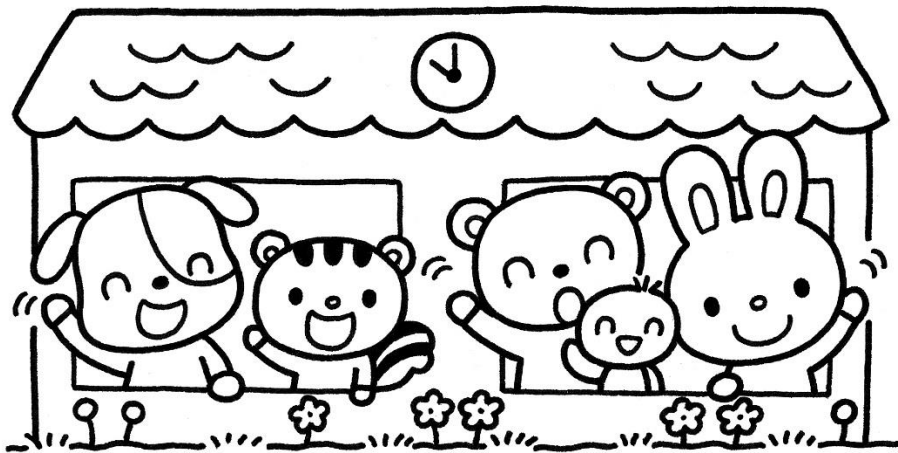


# 鈴鹿市立保育所・幼稚園 施設整備に関する基本方針



令和2年10月

鈴 鹿 市



## 目 次

1	趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	保育所施設整備方針と幼稚園再編整備計画について・・・	1
3	検証・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
4	本方針策定のながれ・・・・・・・・・・・・・・・・	3
5	他の計画との連携・・・・・・・・・・・・・・・・	3
6	市内の人口及び利用者数の推計・・・・・・・・	4
7	市内の就学前施設の現状・・・・・・・・	9
8	公立保育所・公立幼稚園の役割と今後の方向性・・・・	3 1
9	施設整備のまとめ・・・・・・・・	3 4
資料	就学前施設の位置図・・・・・・・・	3 6



## 1 趣旨

令和2年4月現在、本市には就学前施設として、公立保育所が10園、私立保育園が27園、公立幼稚園が11園、私立幼稚園が6園、私立認定こども園が5園の全体で59園の施設があります。

これらの就学前施設では、核家族化の進行や共働き世帯の増加による教育・保育ニーズの多様化や、幼児教育・保育の無償化、少子高齢化等の影響により需要と供給に地域差が生じています。

そのような中、公立施設の約86%は、築30年以上が経過した施設であり、長寿命化のための大規模改修や改築等の施設整備を計画的、効率的に進めていくことが必要です。

そこで、これらの施設が本市の児童にとって生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要な場であることを踏まえ、今後の教育・保育ニーズを一元的に把握し、誰もが安心して子育てができる環境を確保するため、「鈴鹿市立保育所施設整備方針」（以下「保育所施設整備方針」という。）及び「鈴鹿市立幼稚園再編整備計画」（以下「幼稚園再編整備計画」という。）を一本化し、新たに「鈴鹿市立保育所・幼稚園施設整備に関する基本方針」（以下「本方針」という。）を策定します。

## 2 保育所施設整備方針と幼稚園再編整備計画について

「幼稚園再編整備計画」は、平成20年1月に鈴鹿市幼稚園再編整備検討委員会を設置して諮問し、平成21年12月に受けた「鈴鹿市立幼稚園の再編整備に関する答申」を基本としつつ、適正規模の集団による教育の場を提供することにより、幼児教育の諸問題を解決し、各地域における就学前教育の環境整備を目的として、平成25年度に策定したものです。

また、「保育所施設整備方針」は、平成24年度に策定しました鈴鹿市行財政改革アクションプランにおける子育て支援と、幼児教育の一体的なサービス提供の環境整備の取組を推進していくに当たり、「幼稚園再編整備計画」を踏まえながら、今後の公立保育所に求められる役割や機能を再確認し、就学前教育・保育環境を整えることを目的として平成27年度に策定したものです。

「鈴鹿市立幼稚園の今後の在り方について」は、今後の鈴鹿市立幼稚園の保育料や役割等の方向性を検討するに当たり、「鈴鹿市立幼稚園の今後の在り方検討会議」において平成27年度に意見としてまとめられたものです。

平成25年	9月	鈴鹿市立幼稚園再編整備計画	策定
平成27年	3月	鈴鹿市子ども・子育て支援事業計画	策定
平成27年	12月	鈴鹿市立保育所施設整備方針	策定
平成28年	3月	鈴鹿市立幼稚園の今後の在り方について	意見公表
平成28年	4月	子ども政策部	創設
令和2年	3月	第2期鈴鹿市子ども・子育て支援事業計画	策定

### 3 検証

#### (1) 「幼稚園再編整備計画」の検証

「幼稚園再編整備計画」では、幼保一元化の考え方を取り入れながら、各中学校区に公立幼稚園をおおむね1園とすることを基本に再編を行い、統廃合を進めるとともに、全ての公立幼稚園で2年保育を実施し、専任の園長を配置することを掲げています。

統廃合を進めた結果、計画策定時に設置されていた23園から、各中学校区におおむね1園の11園となり、全公立幼稚園における2年保育の実現と専任の園長の配置により、適正な規模の集団による教育を実現し、児童の発達・成長に即した教育を行い、子育て支援の充実を図っています。

#### (2) 「保育所施設整備方針」の検証

「保育所施設整備方針」では、幼保一元化の考え方を取り入れながら、特に整備の必要性・緊急性が高い保育所として、西条保育所、合川保育所、玉垣保育所、算所保育所を「第1次重点整備箇所」として位置付け、整備の推進を優先的に図ることを掲げています。

その内、西条保育所については、移転改築を行い、令和2年4月に開園し、「子育て支援総合拠点」として位置付け、子育て支援の充実を図っています。

#### (3) 「鈴鹿市立幼稚園の今後の在り方について」の検証

「鈴鹿市立幼稚園の今後の在り方について」では、公立の保育料の見直しを行うことや預かり保育、3年保育の実施、幼保一元化施設、認定こども園の設置について検討を行うことを掲げています。

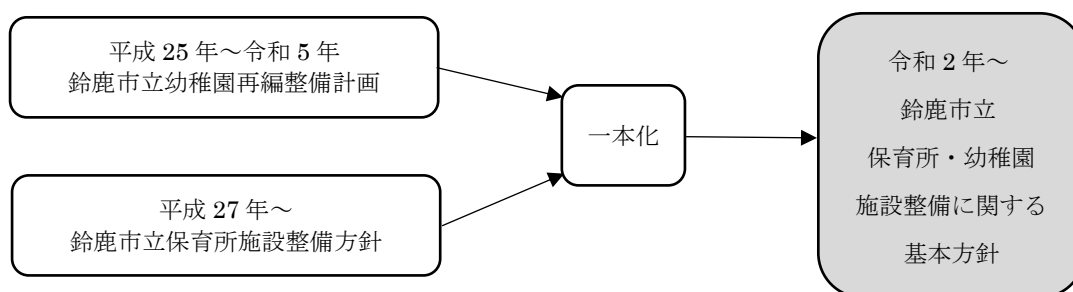
公立の保育料については、平成29年度に見直しを行いました。

## 4 本方針策定のながれ

本方針は、「保育所施設整備方針」と「幼稚園再編整備計画」を一本化し、幼児教育・保育の無償化の影響による施設利用者数の変化を見据え、今後の推計や方向性を検討し、策定を行いました。

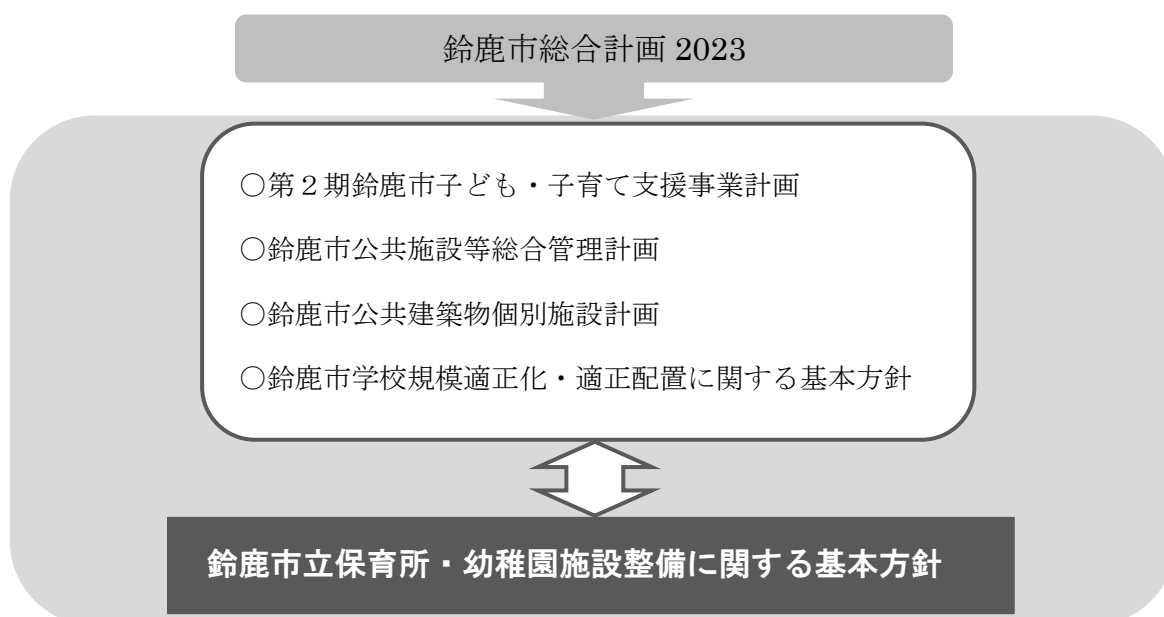
また、幼児教育・保育を取り巻くニーズは、低年齢化の高まり等の変化が起こっており、国の子育て支援策や、本市の状況等を踏まえ、「第2期鈴鹿市子ども・子育て支援事業計画」との整合を図りながら必要に応じ、随時見直しを行います。

なお、本方針の策定については、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）第77条第1項に規定の子ども・子育て支援に関する施策の総合的かつ計画的な推進に関し必要な事項に該当し、より専門的な内容であることから、鈴鹿市子ども・子育て会議施設整備方針部会を設置し意見聴取を行いました。



## 5 他の計画との連携

上位計画である「鈴鹿市総合計画2023」のもと、関連する「第2期鈴鹿市子ども・子育て支援事業計画」、「鈴鹿市公共施設等総合管理計画」、「鈴鹿市公共建築物個別施設計画」、「鈴鹿市学校規模適正化・適正配置に関する基本方針」の計画等と整合性を図ります。

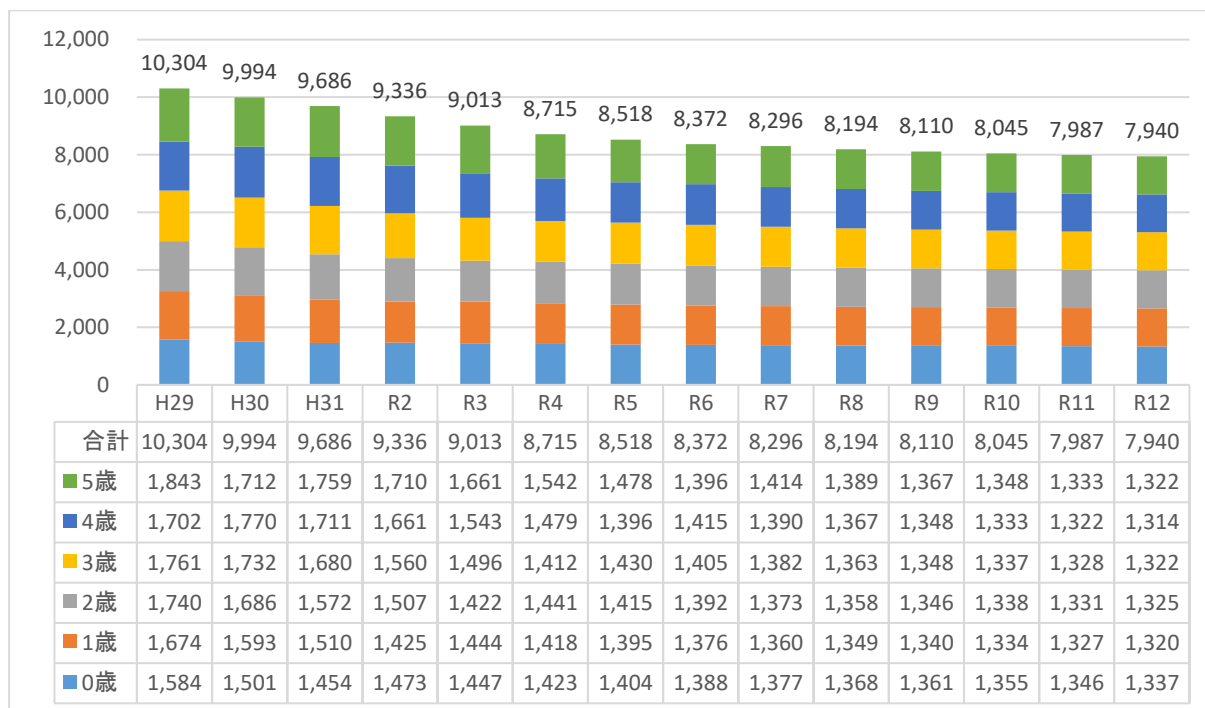


## 6 市内の人口及び利用者数の推計

本方針の策定に当たり、(1)のとおり、市内の0～5歳の人口推計を行いました。

また、(2)において市内の就学前施設の利用者数の推計を行い、(3)から(5)において、保育所(園)、幼稚園、認定こども園の利用者数の推計を行いました。

### (1) 市内の0～5歳の人口推移



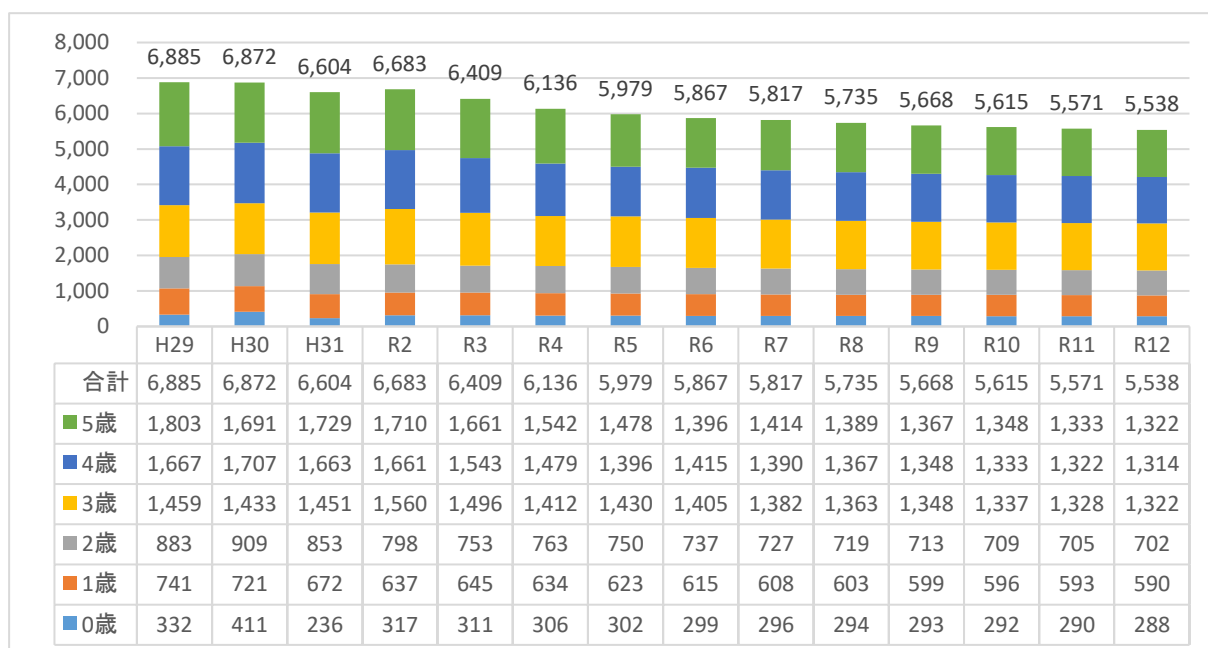
資料：鈴鹿市総合計画 2023

【考察】0～5歳の人口は減少傾向で、令和12年には平成29年より約23%、2,364人減少する見込みです。

また、平成31年より約18%、1,746人減少する見込みです。



## (2) 市内の就学前施設の利用者数の推移

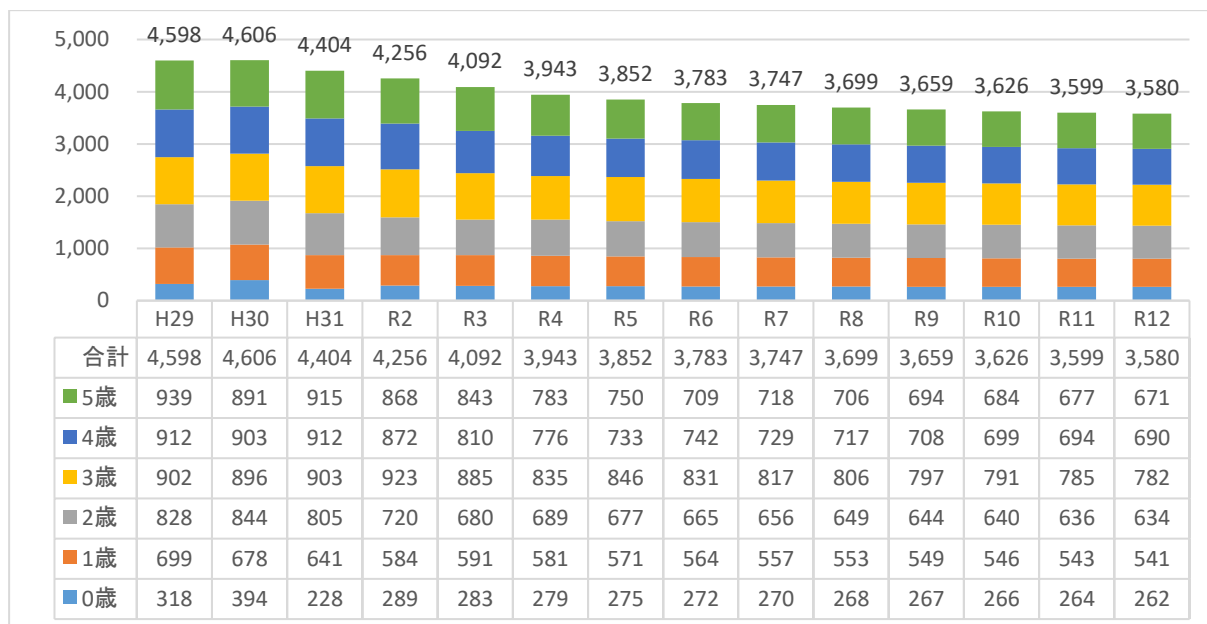


※平成31年4月1日現在の就学前施設の定員は、7,944人です。

※平成29～31年度の利用者数と人口を基に各年各歳の利用率を算出し、その平均利用率を令和2年度以降に適用しています(0歳:21.57% 1歳:45.04% 2歳:53.44% 3～5歳:100%)。

**【考察】**令和元年10月に開始された幼児教育・保育の無償化等により、令和2年度に利用者数は一時的に増加しますが、その後は0～5歳の人口の減少とともに、利用者数も減少が進み、令和12年度には、平成31年度より約16%、1,066人減少する見込みです。

### (3) 市内の保育所（園）の利用者数の推移



※平成31年4月1日現在の保育所（園）の定員は、4,635人です。令和2年度に、私立保育園から私立認定こども園へ2園移行するため、4,455人となります。

【考察】 公立保育所10園，私立保育園29園（平成31年4月現在）の定員に対する利用者数の推移を表しています。

利用者数は減少傾向ですが，令和12年度の利用率は，約80%と比較的高い利用率を推移する見込みです。

#### 公立保育所の利用者数の推移

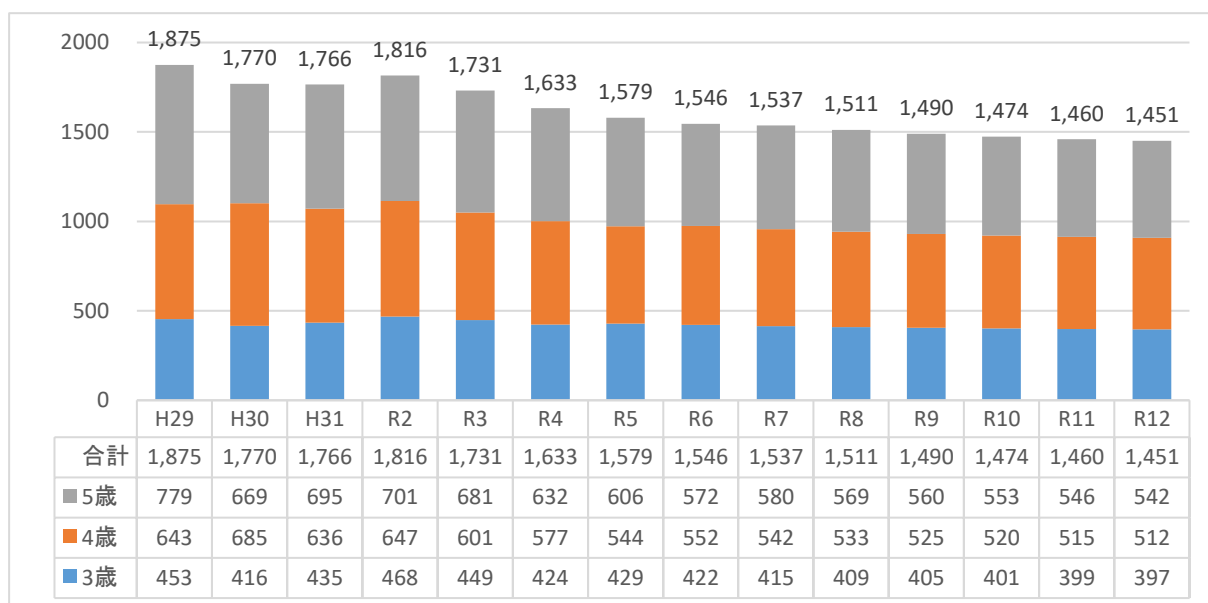
保育所名	定員	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
牧田保育所	150	130	135	131	126	122	118	115	113	112	111	110	109	108	107
白子保育所	90	87	90	90	87	84	81	79	78	77	76	75	75	74	74
神戸保育所	150	149	149	141	136	131	127	124	122	121	119	118	117	116	116
玉垣保育所	150	142	145	139	134	129	125	122	120	120	118	116	115	115	114
合川保育所	80	71	70	68	66	63	61	60	59	58	58	57	57	56	56
河曲保育所	150	147	143	139	134	129	125	122	120	119	118	116	115	115	114
算所保育所	150	131	120	114	110	106	103	100	99	98	96	96	95	94	93
深伊沢保育所	80	58	50	53	51	49	48	47	46	45	45	44	44	44	43
西条保育所	150	122	121	123	119	114	111	108	106	105	104	103	102	101	101
一ノ宮保育所	100	96	94	96	93	89	86	84	83	82	81	80	80	79	79
合計	1,250	1,133	1,117	1,094	1,056	1,016	985	961	946	937	926	915	909	902	897
利用率		91%	90%	88%	84%	81%	79%	77%	76%	75%	74%	73%	73%	72%	72%

※令和2年度以降の0～5歳の人口（P4参照）に平成31年度の利用率を乗じ算出しています。

※平成31年度までの利用率は，西条保育所の定員を140人として計算しています。

【考察】 公立保育所の児童数は，平成31年度までは利用率90%前後を推移し，比較的高い利用率でしたが，令和2年度以降は減少する傾向で，令和12年度の利用率は約72%になる見込みです

#### (4) 市内の幼稚園の利用者数の推移



※平成31年4月1日現在の幼稚園の定員は、2,840人です。

【考察】公立幼稚園11園、私立幼稚園6園の定員に対する利用者数の推移を表しています。利用者数は減少傾向で、令和12年度の利用率は約51%になる見込みです。

#### 公立幼稚園の利用者数の推移

幼稚園名	定員	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
国府幼稚園	55	41	52	40	33	35	33	31	30	30	30	29	29	29	28
加佐登幼稚園	50	32	23	23	24	16	15	(14)	(14)	(14)	(14)	(14)	(14)	(13)	(13)
白子幼稚園	55	38	32	35	34	32	31	29	28	28	28	28	27	27	27
旭が丘幼稚園	140	106	109	109	83	69	65	62	60	60	59	58	58	57	56
稲生幼稚園	70	53	46	44	39	28	27	25	25	25	24	24	24	23	23
飯野幼稚園	80	73	70	61	50	39	36	35	34	34	33	33	32	32	32
箕田幼稚園	40	34	41	35	21	20	19	18	18	18	17	17	17	17	17
玉垣幼稚園	70	57	61	61	46	39	36	35	34	34	33	33	32	32	32
神戸幼稚園	60	61	70	64	59	52	48	45	44	44	44	43	42	42	42
栄幼稚園	15	11	5	8	8	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(3)	(3)	(3)	(3)
椿幼稚園	15	12	16	7	休園										
合計	650	518	525	487	397	334	314	298	291	291	286	282	278	275	273
利用率		80%	81%	75%	61%	51%	48%	46%	45%	45%	44%	43%	43%	42%	42%

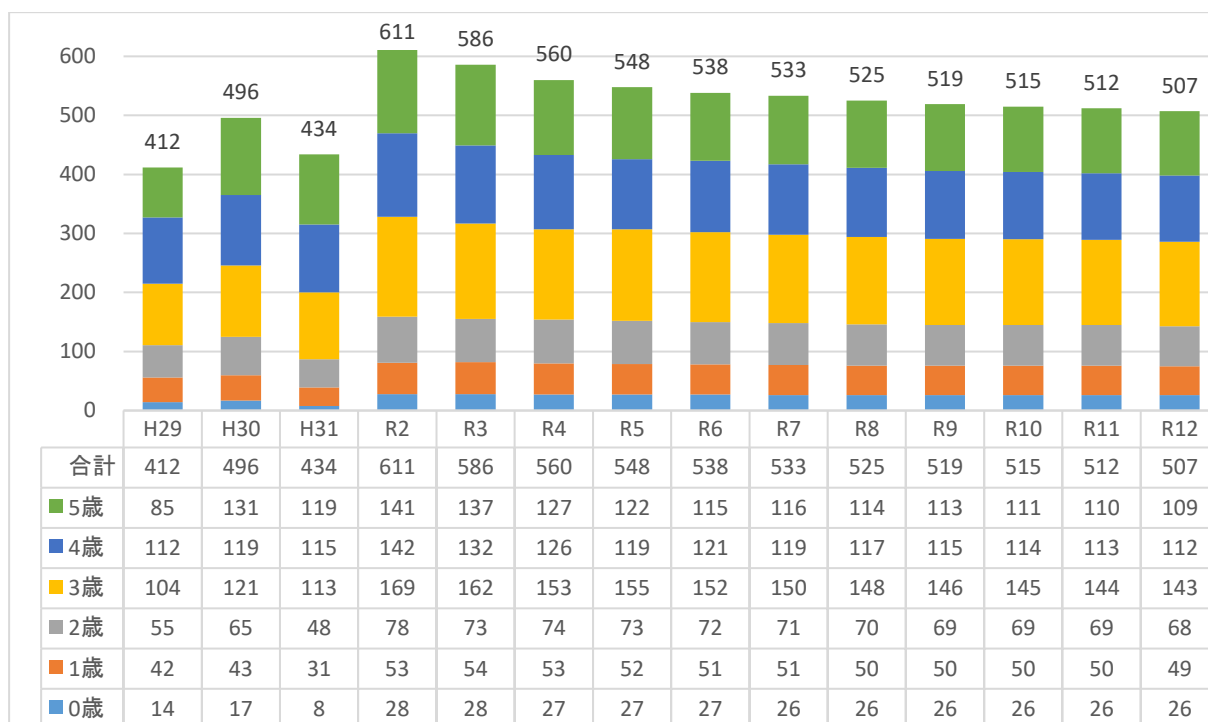
※令和3年度以降の4歳の推計人口（P6参照）に令和2年度の申込率を乗じ算出しています。

（公立幼稚園は、4・5歳児のみ実施）

※表中の（ ）はP9の鈴鹿市立幼稚園の休園基準・廃園基準に該当することを表しています。

【考察】公立幼稚園の児童数は、平成30年度までは利用率が約80%と比較的高い状況でしたが、平成31年度から減少が進み、令和元年10月から開始された幼児教育・保育の無償化等の影響もあり、令和2年度の利用率は、前年度に比べ約14%減少しました。また、令和12年度の利用率は約42%になる見込みです。

### (5) 市内の認定こども園の利用者数の推移



※平成31年4月1日現在の認定こども園の定員は、519人です。令和2年度以降、私立保育園から私立認定こども園へ2園移行するため、720人となります。

【考察】令和2年度から認定こども園が増設され、利用者数は増加しますが、その後利用者数は緩やかな減少傾向にあり、令和12年度の利用率は約70%になる見込みです。

## 7 市内の就学前施設の現状

### (1) 区域設定の考え方

「幼稚園再編整備計画」では、各中学校区を基本区域として再編整備を行ってきましたが、公立幼稚園において児童数が年々減少し、特に令和2年度入園者が大きく減少したことや、鈴峰中学校区に設置されている椿幼稚園の休園（令和2年度）などを受け、区域の考え方を見直す必要があります。

本市の就学前施設の利用状況については、希望する保育所（園）を選択する基準の1つに通勤途中の園が利用されていることや、私立幼稚園・保育園等において通園バスが利用されていることなど、居住する小学校区や中学校区以外の広範囲から施設が利用されている状況があります。

併せて令和2年3月に策定した「第2期鈴鹿市子ども・子育て支援事業計画」においても、各事業の提供区域については、市内全域を1区域と設定し、教育・保育事業における確保方策についても満たされていることから、本方針についても同様に、市内全域を1つの区域と考え、就学前施設の整備について検討を行います。

### (2) 鈴鹿市立幼稚園の休園基準・廃園基準

本市では、適正規模の集団としての幼児教育を行うため「鈴鹿市立幼稚園の休園基準・廃園基準」（以下「休園・廃園基準」という。）を設けており、引き続き本方針においても運用を図ります。

#### 【鈴鹿市立幼稚園休園基準】

下記に該当する場合は、休園とする。

- 1 入園希望を募った結果、園児数が15人未満である場合は、休園とする。

ただし、令和元年5月1日現在、既に園児数が15人未満である栄幼稚園と椿幼稚園の基準については、7人未満とする。

#### 【鈴鹿市立幼稚園廃園基準】

下記のいずれかに該当する場合は廃園とする。

- 1 平成26年度以降、通算4度休園となる場合（休園を確定した当該年度末に廃園）
- 2 平成26年度以降、連続3か年休園となる場合（                                  ）
- 3 災害等による甚大な被害により、今後の存続が困難と判断される場合
- 4 その他、廃園が適当と教育委員会が認める場合

### (3) 各公立保育所，公立幼稚園の現状

各公立保育所，公立幼稚園の周辺（おおよそ半径2km以内）の就学前施設の状況を含めた現状（定員，在籍児童数は令和元年5月1日現在）は，下記のとおりです。

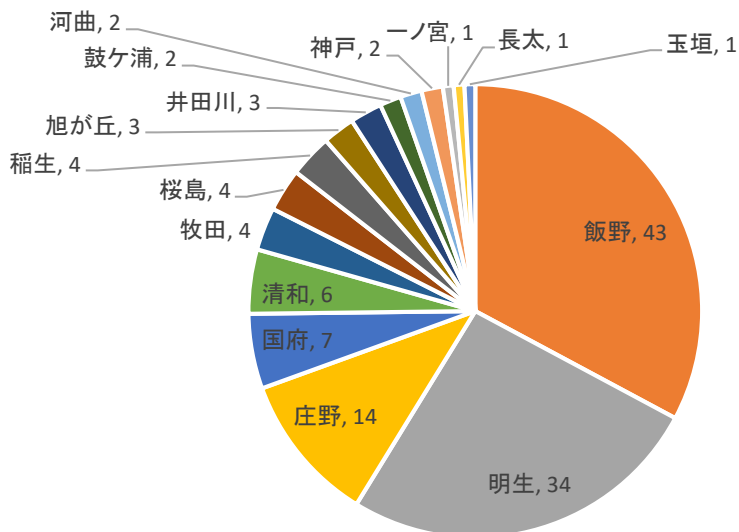
#### 牧田保育所

牧田保育所は，昭和24年に本市で初めて公立保育所として認可され，現園舎は昭和62年度に建築され，築後32年を経過した鉄筋コンクリート造2階建ての保育所で，個性的な建物であることや利便性のよい地域にあり，児童数は比較的安定しています。

周辺の就学前施設の状況 令和元年5月1日現在

	名称	定員	在籍児童数
公立保育所	<b>牧田保育所</b>	150	131
	算所保育所	150	114
私立保育園	トーマスぼーや保育園	120	121
	ハートピア保育園	230	217
【保育所 計】		650	583
公立幼稚園	飯野幼稚園	80	61
私立幼稚園	道伯幼稚園	510	326
【幼稚園 計】		590	387
【周辺施設 計】		1,240	970

在籍児童数 小学校区別内訳(人)



## 白子保育所

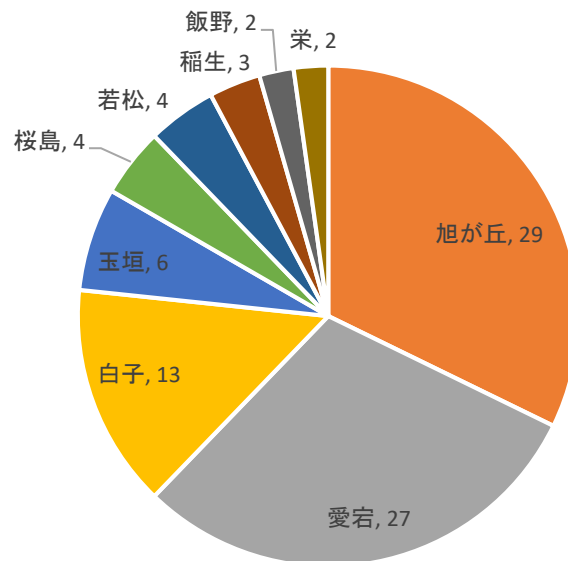
白子保育所は、昭和33年に二番目の公立保育所として設立され、現園舎は昭和56年度に建築後、築後38年を経過した鉄筋コンクリート造平屋建ての保育所で、児童数は比較的安定しています。

周辺の就学前施設の状況

令和元年5月1日現在

	名 称	定 員	在籍児童数
公立保育所	<b>白子保育所</b>	90	90
	玉垣保育所	150	139
私立保育園	あおい保育園	200	172
	サラナ保育園	120	120
	ひばり保育園	70	66
	みそら保育園	110	103
	大鳥保育園	90	88
【保育所 計】		830	778
公立幼稚園	白子幼稚園	55	35
	旭が丘幼稚園	140	109
私立幼稚園	白子ひかり幼稚園	240	107
	第二すずかきしおか幼稚園	120	76
【幼稚園 計】		555	327
【周辺施設 計】		1,385	1,105

在籍児童数 小学校区別内訳(人)



## 神戸保育所

神戸保育所は、昭和56年度に建築され、築後38年を経過した鉄筋コンクリート造平屋建ての保育所で、一時預かり事業を実施しています。中央道路からも近く、交通の便が良いため、広い地域からの利用があり、児童数は比較的安定していますが、送迎用駐車場や園庭の確保などの課題があり、施設の老朽化も進んでいます。

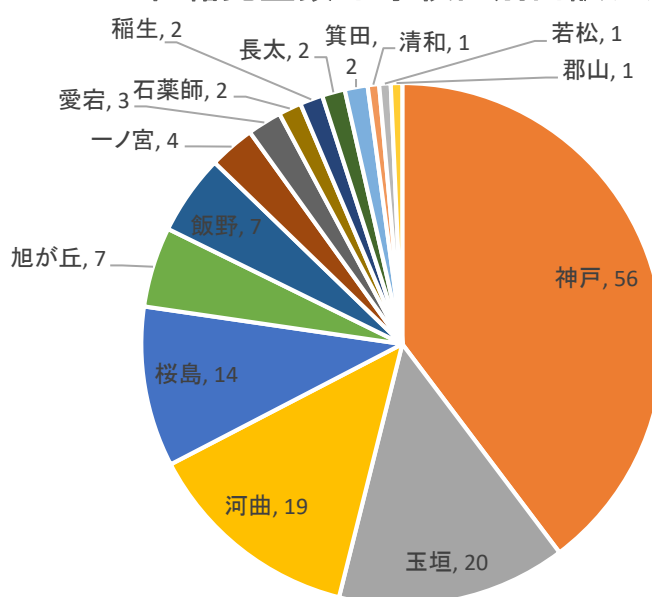
周辺の就学前施設の状況

令和元年5月1日現在

	名称	定員	在籍児童数
公立保育所	<b>神戸保育所</b>	150	141
	河曲保育所	150	139
	西条保育所 ※	140	123
私立保育園	ぐみの木ほいくえん	80	93
【保育所 計】		520	496
公立幼稚園	神戸幼稚園	60	64
	玉垣幼稚園	70	61
私立幼稚園	すずか幼稚園	450	282
【幼稚園 計】		580	407
【周辺施設 計】		1,100	903

※西条保育所の定員は令和2年度から150人となります。

在籍児童数 小学校区別内訳(人)





## 玉垣保育所

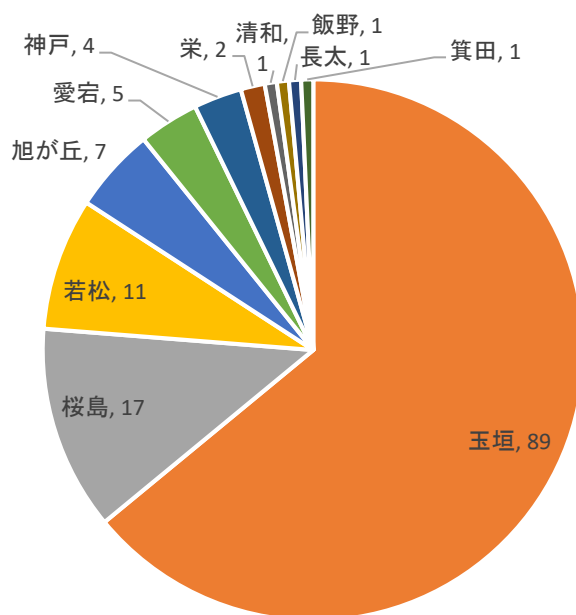
玉垣保育所は、昭和43年度に建築され、築後51年を経過した木造平屋建ての老朽化が著しい保育所です。児童数は、比較的安定していますが、敷地面積が狭く、送迎用駐車場に課題があります。

周辺の就学前施設の状況

令和元年5月1日現在

	名 称	定 員	在籍児童数
公立保育所	<b>玉垣保育所</b>	150	139
	白子保育所	90	90
私立保育園	ぐみの木ほいくえん	80	93
	ひばり保育園	70	66
	みそら保育園	110	103
	サラナ保育園	120	120
【保育所 計】		620	611
公立幼稚園	玉垣幼稚園	70	61
	旭が丘幼稚園	140	109
私立幼稚園	第二すずかきしおか幼稚園	120	76
【幼稚園 計】		330	246
【周辺施設 計】		950	857

在籍児童数 小学校区別内訳(人)



## 合川保育所

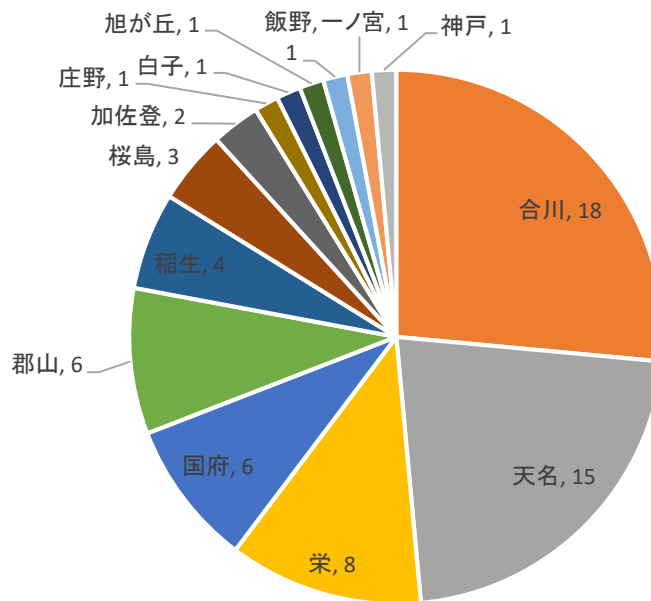
合川保育所は、本市の南西地域にあつて、昭和47年度に建築され、築後47年を経過した鉄骨造平屋建ての老朽化が著しい保育所です。保育所周辺には、田園が一体に広がり、のどかな自然に囲まれており、中勢バイパスの開通により、今後も通勤途中の児童の確保が見込めます。

周辺の就学前施設の状況

令和元年5月1日現在

	名称	定員	在籍児童数
公立保育所	<b>合川保育所</b>	80	68
	<b>【保育所 計】</b>	80	68
	<b>【周辺施設 計】</b>	80	68

在籍児童数 小学校区別内訳(人)



## 河曲保育所

河曲保育所は、平成22年度に建築され、築後9年を経過した鉄筋コンクリート造2階建ての保育所で、一時預かり事業や子育て支援センター事業を実施しており、児童数は比較的安定しています。

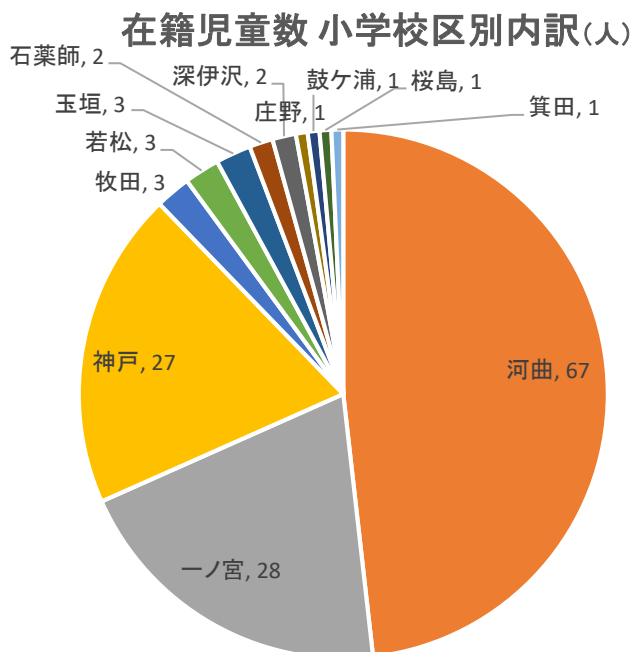
周辺の就学前施設の状況

令和元年5月1日現在

	名 称	定 員	在籍児童数
公立保育所	<b>河曲保育所</b>	150	139
	神戸保育所	150	141
	西条保育所 ※1	140	123
	一ノ宮保育所	100	96
私立保育園	高岡ほうりん保育園 ※2	90	85
【保育所 計】		630	584
公立幼稚園	神戸幼稚園	60	64
私立幼稚園	すずか幼稚園	450	282
【幼稚園 計】		510	346
【周辺施設 計】		1,140	930

※1 西条保育所の定員は令和2年度から150人となります。

※2 高岡ほうりん保育園は令和2年度から認定こども園へ移行しました。



## 算所保育所

算所保育所は、近鉄鈴鹿線の線路沿いにあり、「電車が見える保育所」として親しまれていますが、昭和49年度に建築され、築後45年を経過した鉄骨造平屋建ての保育所で老朽化が進んでいます。近年、児童数は減少しています。

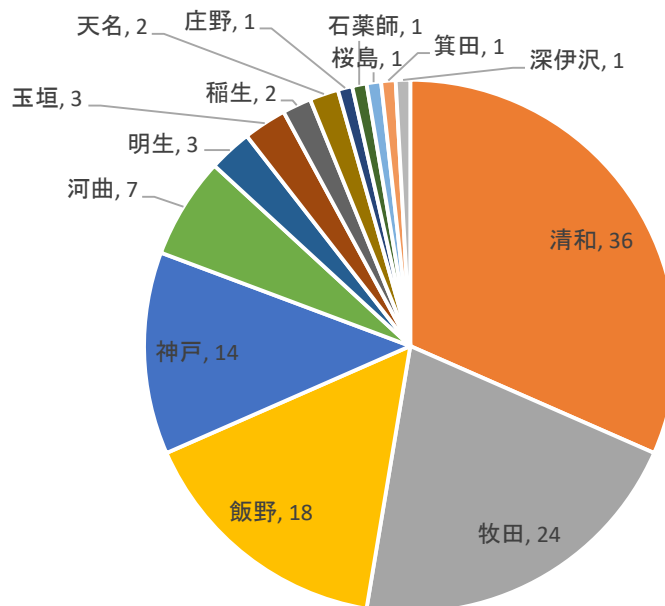
周辺の就学前施設の状況

令和元年5月1日現在

	名 称	定 員	在籍児童数
公立保育所	<b>算所保育所</b>	150	114
	牧田保育所	150	131
	西条保育所 ※	140	123
私立保育園	トーマスぼーや保育園	120	121
	竹野の森こども園	130	130
	ハートピア保育園	230	217
	あかつき保育園	120	113
【保育所 計】		1,040	949
公立幼稚園	飯野幼稚園	80	61
私立幼稚園	道伯幼稚園	510	326
【幼稚園 計】		590	387
【周辺施設 計】		1,630	1,336

※西条保育所の定員は令和2年度から150人となります。

在籍児童数 小学校区別内訳(人)



## 深伊沢保育所

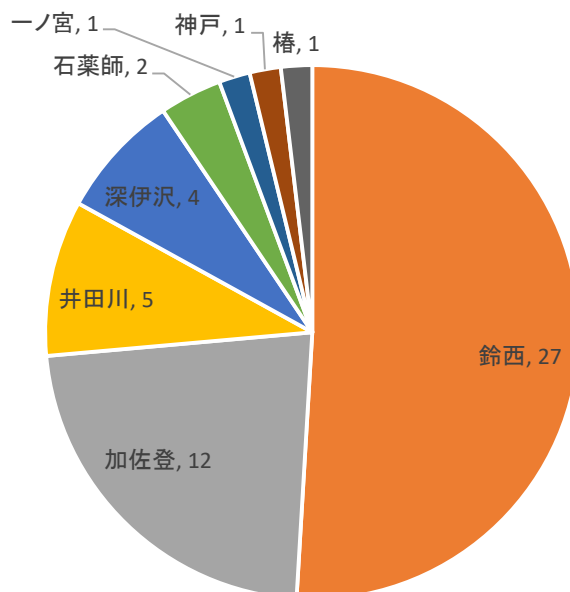
深伊沢保育所は、のどかな自然に恵まれたまちの中にあり、昭和50年度に建築され、築後44年を経過した鉄骨造平屋建ての保育所で、老朽化が進んでいます。地域との密着した活動を展開していますが、児童数は減少しています。

周辺の就学前施設の状況

令和元年5月1日現在

	名 称	定 員	在籍児童数
公立保育所	<b>深伊沢保育所</b>	80	53
私立保育園	岸田保育園	90	71
	くまだ保育園	80	93
	庄内青い鳥保育園	90	86
【保育所 計】		340	303
【周辺施設 計】		340	303

在籍児童数 小学校区別内訳(人)



## 西条保育所

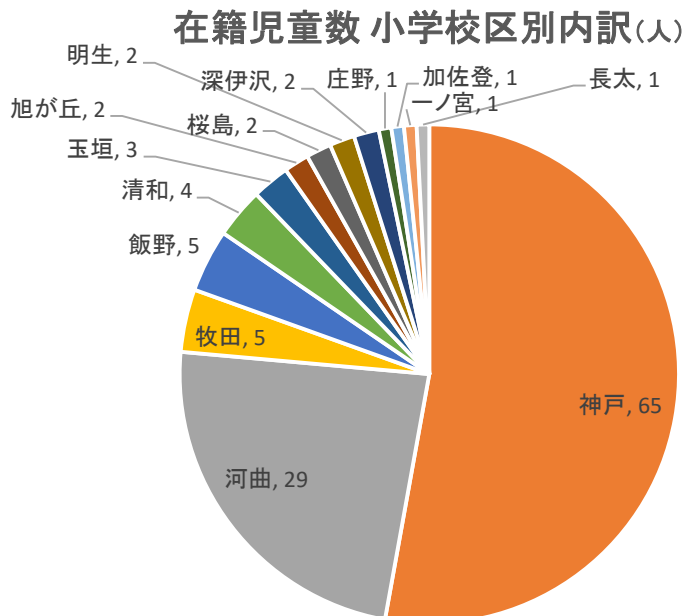
西条保育所は、昭和53年度に建築され、児童数は比較的安定しています。施設の老朽化により令和元年度に移転改築を行い、令和2年4月に開所しました。開所後は、病後児保育や一時預かり事業などの特別保育を充実させ、本市の「子育て支援総合拠点」として位置付けています。

周辺の就学前施設の状況

令和元年5月1日現在

	名 称	定 員	在籍児童数
公立保育所	<b>西条保育所 ※</b>	140	123
	神戸保育所	150	141
	算所保育所	150	114
私立保育園	竹野の森こども園	130	130
	あかつき保育園	120	113
	ぐみの木ほいくえん	80	93
【保育所 計】		770	714
公立幼稚園	神戸幼稚園	60	64
	飯野幼稚園	80	61
私立幼稚園	すずか幼稚園	450	282
【幼稚園 計】		590	407
【周辺施設 計】		1,360	1,121

※西条保育所の定員は令和2年度から150人となります。



## 一ノ宮保育所

一ノ宮保育所は、市内北東部地域にある昭和53年度に建築され、築後41年を経過した鉄筋コンクリート造平屋建ての保育所で、地域からの利用者が多く、地域と密着した保育活動を展開しており、児童数は比較的安定しています。

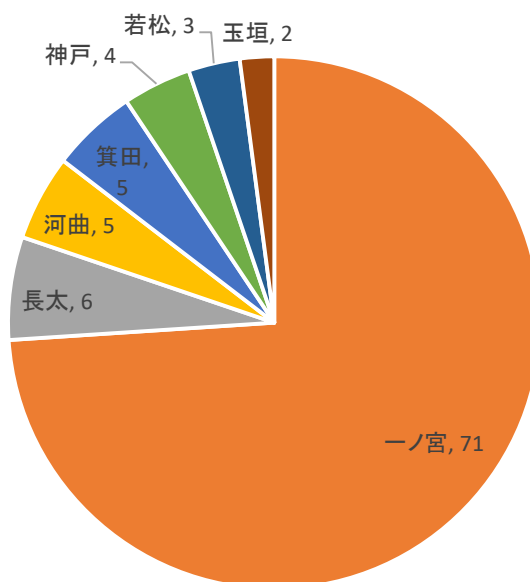
周辺の就学前施設の状況

令和元年5月1日現在

	名 称	定 員	在籍児童数
公立保育所	<b>一ノ宮保育所</b>	100	96
	河曲保育所	150	139
私立保育園	高岡ほうりん保育園 ※	90	85
【保育所 計】		340	320
公立幼稚園	神戸幼稚園	60	64
【幼稚園 計】		60	64
【周辺施設 計】		400	384

※高岡ほうりん保育園は令和2年度から認定こども園へ移行しました。

在籍児童数 小学校区別内訳(人)



## 国府幼稚園

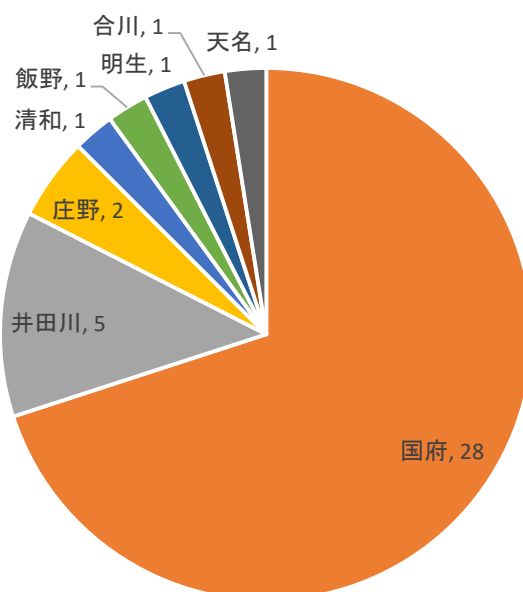
国府幼稚園は、昭和56年度に建築され、築後38年を経過した鉄筋コンクリート造平屋建ての幼稚園で、周辺は田畑に囲まれた自然豊かな地域で、小中学校との交流も盛んに行っています。児童数は、近年減少しています。

周辺の就学前施設の状況

令和元年5月1日現在

	名 称	定 員	在籍児童数
公立幼稚園	<b>国府幼稚園</b>	55	40
	<b>【幼稚園 計】</b>	55	40
私立保育園	梅檀保育園	60	63
	ひので保育園	120	110
	<b>【保育所 計】</b>	180	173
	<b>【周辺施設 計】</b>	235	213

## 在籍児童数 小学校区別内訳(人)





## 加佐登幼稚園

加佐登幼稚園は、昭和60年度に建築され、築後34年を経過した鉄筋コンクリート造平屋建ての幼稚園で、心身ともにたくましく、感受性豊かな子どもの育成を教育目標に掲げています。児童数は、近年減少しています。

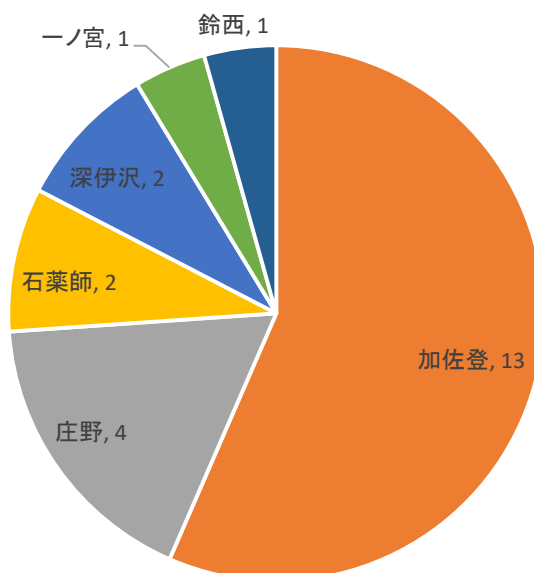
周辺の就学前施設の状況

令和元年5月1日現在

	名称	定員	在籍児童数
公立幼稚園	<b>加佐登幼稚園</b>	50	23
	<b>【幼稚園 計】</b>	50	23
私立保育園	白鳩保育園	200	211
	石薬師保育園 ※	90	88
	第二石薬師保育園	90	82
	かもめ保育園	110	128
	<b>【保育所 計】</b>	490	509
	<b>【周辺施設 計】</b>	540	532

※石薬師保育園は令和2年度から認定こども園へ移行しました。

## 在籍児童数 小学校区別内訳(人)



## 白子幼稚園

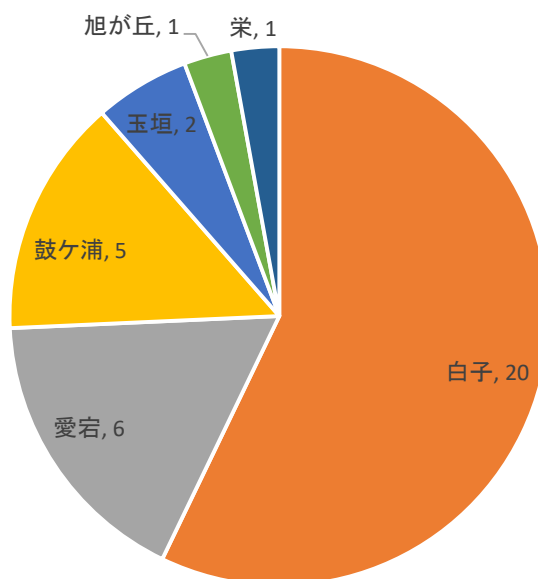
白子幼稚園は、昭和61年度に建築され、築後33年を経過した鉄筋コンクリート造平屋建ての幼稚園で、自発的な活動としての遊びを大切にしています。児童数は、近年減少しています。

周辺の就学前施設の状況

令和元年5月1日現在

	名 称	定 員	在籍児童数
公立幼稚園	<b>白子幼稚園</b>	55	35
	旭が丘幼稚園	140	109
私立幼稚園	白子ひかり幼稚園	240	107
	第一さくら幼稚園	360	114
【幼稚園 計】		795	365
公立保育所	白子保育所	90	90
私立保育園	あおい保育園	200	172
	大鳥保育園	90	88
	鼓ヶ浦保育園	70	62
【保育所 計】		450	412
【周辺施設 計】		1,245	777

在籍児童数 小学校区別内訳(人)



## 旭が丘幼稚園

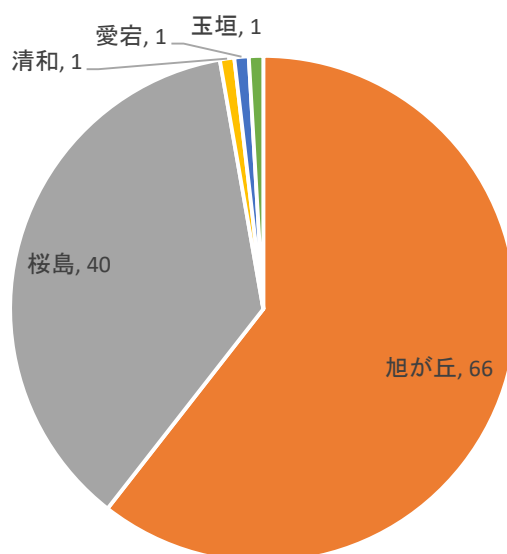
旭が丘幼稚園は、平成8年度に建築され、築後23年を経過した鉄筋コンクリート造2階建ての幼稚園で、自ら学び行動し、心身ともにたくましい子となるよう幼児教育・保育に取り組んでいます。児童数は減少していますが、公立幼稚園の中では、最も児童数が多い園です。

周辺の就学前施設の状況

令和元年5月1日現在

	名 称	定 員	在籍児童数
公立幼稚園	<b>旭が丘幼稚園</b>	140	109
	白子幼稚園	55	35
私立幼稚園	白子ひかり幼稚園	240	107
【幼稚園 計】		435	251
公立保育所	白子保育所	90	90
	玉垣保育所	150	139
私立保育園	旭が丘保育園	115	109
	大鳥保育園	90	88
	野町保育園	160	145
	あおい保育園	200	172
【保育所 計】		805	743
【周辺施設 計】		1,240	994

在籍児童数 小学校区別内訳(人)



## 稲生幼稚園

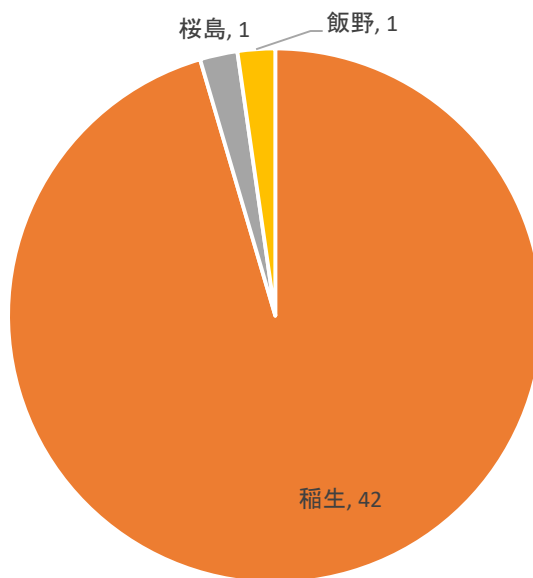
稲生幼稚園は、昭和55年度に建築され、築後39年を経過した鉄筋コンクリート造平屋建ての幼稚園で、小学校や地域とのつながりを大切にしています。児童数は、近年減少しています。

周辺の就学前施設の状況

令和元年5月1日現在

	名 称	定 員	在籍児童数
公立幼稚園	<b>稲生幼稚園</b>	70	44
私立幼稚園	第二さくら幼稚園	510	374
【幼稚園 計】		580	418
私立保育園	ドリームハウス保育園	200	209
	大鳥保育園	90	88
	野町保育園	160	145
【保育所 計】		450	442
【周辺施設 計】		1,030	860

## 在籍児童数 小学校区別内訳(人)



## 飯野幼稚園

飯野幼稚園は、昭和49年度に建築され、築後45年を経過した木造平屋建ての老朽化が著しい幼稚園で、子どもたちを主体とした教育・保育の実践に努めています。児童数は減少していますが、公立幼稚園の中では、比較的児童数が多い園です。

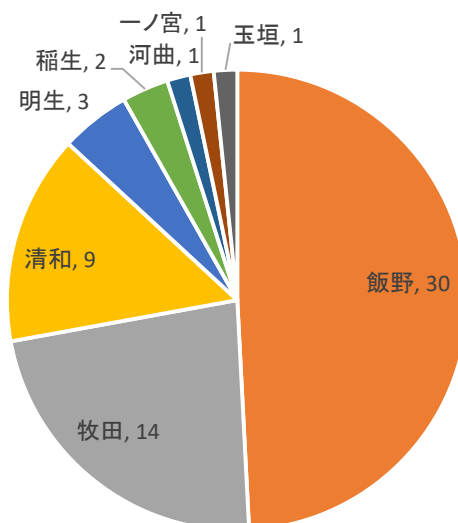
周辺の就学前施設の状況

令和元年5月1日現在

	名 称	定 員	在籍児童数
公立幼稚園	<b>飯野幼稚園</b>	80	61
私立幼稚園	道伯幼稚園	510	326
	第二さくら幼稚園	510	374
【幼稚園 計】		1,100	761
公立保育所	算所保育所	150	114
	牧田保育所	150	131
	西条保育所 ※	140	123
私立保育園	あかつき保育園	120	113
	ハートピア保育園	230	217
	トーマスぼーや保育園	120	121
	野町保育園	160	145
【保育所 計】		1,070	964
【周辺施設 計】		2,170	1,725

※西条保育所の定員は令和2年度から150人となります。

在籍児童数 小学校区別内訳(人)



## 箕田幼稚園

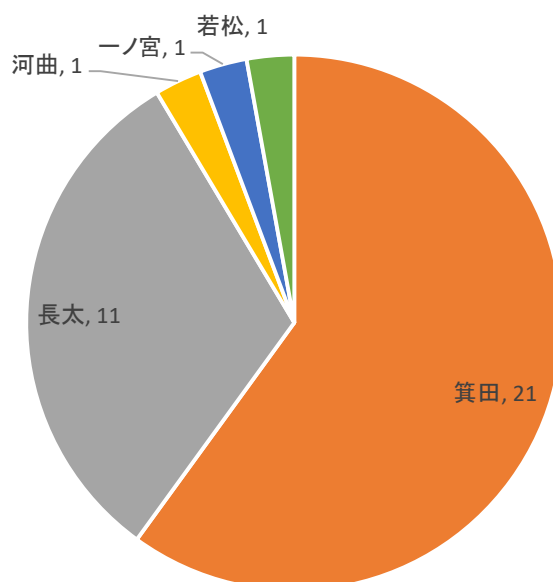
箕田幼稚園は、平成元年度に建築され、築後30年を経過した鉄筋コンクリート造平屋建ての幼稚園で、豊かな心を持ち、たくましく生きる子どもの育成を教育目標に掲げています。児童数は近年減少しています。

周辺の就学前施設の状況

令和元年5月1日現在

	名 称	定 員	在籍児童数
公立幼稚園	<b>箕田幼稚園</b>	40	35
	<b>【幼稚園 計】</b>	40	35
私立保育園	長太の浦保育園	60	54
	第二長太の浦保育園	60	59
	くすのき保育園	150	142
	<b>【保育所 計】</b>	270	255
私立認定こども園	ほうりん認定こども園	129	103
	認定こども園 計	129	103
	<b>【周辺施設 計】</b>	439	393

## 在籍児童数 小学校区別内訳(人)



## 玉垣幼稚園

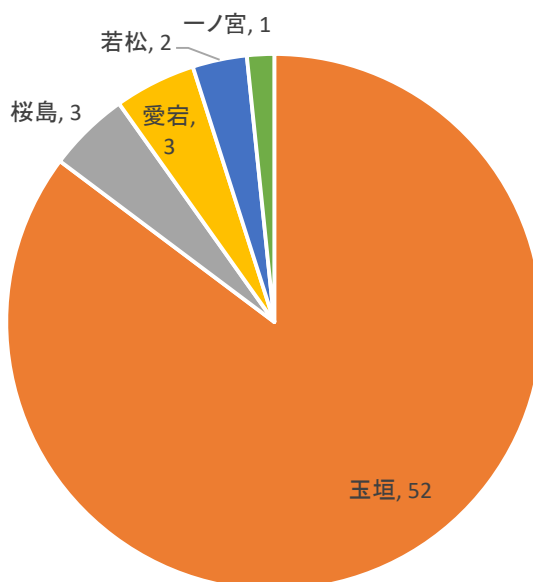
玉垣幼稚園は、昭和62年度に建築され、築後32年を経過した鉄筋コンクリート造平屋建ての幼稚園で、地域に根ざしたひらかれた幼稚園づくりに努めています。児童数は減少していますが、公立幼稚園の中では、比較的児童数が多い園です。

周辺の就学前施設の状況

令和元年5月1日現在

	名 称	定 員	在籍児童数
公立幼稚園	<b>玉垣幼稚園</b>	70	61
私立幼稚園	第二すずかきしおか幼稚園	120	76
【幼稚園 計】		190	137
公立保育所	玉垣保育所	150	139
	神戸保育所	150	141
私立保育園	ぐみの木ほいくえん	80	93
	ひばり保育園	70	66
	みそら保育園	110	103
【保育所 計】		560	542
【周辺施設 計】		750	679

在籍児童数 小学校区別内訳(人)



## 神戸幼稚園

神戸幼稚園は、昭和44年度に建築され、築後50年を経過した木造平屋建ての老朽化が著しい幼稚園で、夢をもちたくましく生きぬく子どもの育成を教育目標として、掲げています。児童数は減少していますが、公立幼稚園の中では、比較的児童数が多い園です。

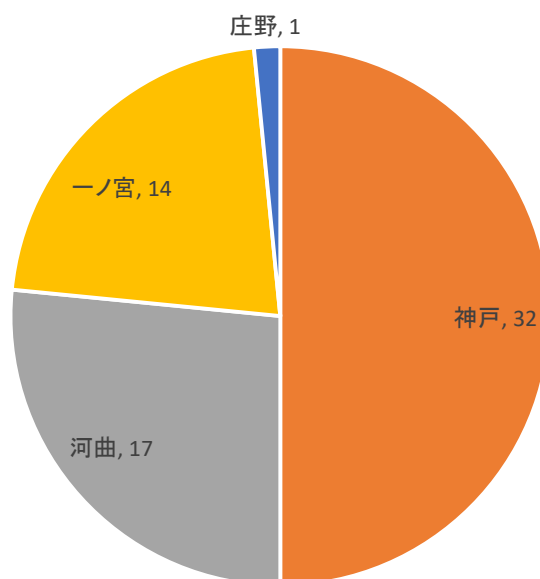
周辺の就学前施設の状況

令和元年5月1日現在

	名 称	定 員	在籍児童数
公立幼稚園	<b>神戸幼稚園</b>	60	64
私立幼稚園	すずか幼稚園	450	282
【幼稚園 計】		510	346
公立保育所	神戸保育所	150	141
	河曲保育所	150	139
	西条保育所 ※	140	123
	一ノ宮保育所	100	96
私立保育園	竹野の森こども園	130	130
	ぐみの木ほいくえん	80	93
【保育所 計】		750	722
【周辺施設 計】		1,260	1,068

※西条保育所の定員は令和2年度から150人となります。

## 在籍児童数 小学校区別内訳(人)





## 栄幼稚園

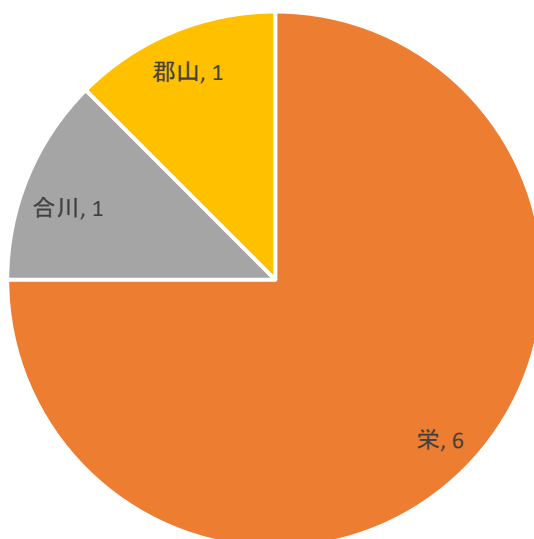
栄幼稚園は、田園に囲まれた自然豊かな地域にあり、昭和56年度に建築され、築後38年を経過した鉄筋コンクリート造平屋建ての幼稚園で、保幼小中との交流が盛んです。児童数は、近年10人を下回っています。

周辺の就学前施設の状況

令和元年5月1日現在

	名 称	定 員	在籍児童数
公立幼稚園	<b>栄幼稚園</b>	15	8
【幼稚園 計】		15	8
私立保育園	いそやま保育園	130	136
	鼓ヶ浦保育園	70	62
【保育所 計】		200	198
私立認定こども園	サン認定こども園	150	125
	認定こども園白百合幼稚園	240	206
【認定こども園 計】		390	331
【周辺施設 計】		605	537

## 在籍児童数 小学校区別内訳(人)



## 椿幼稚園

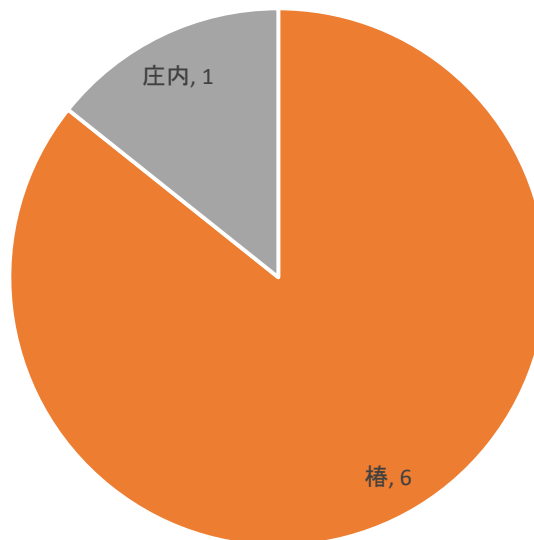
椿幼稚園は、昭和54年度に建築され、築後40年を経過した鉄筋コンクリート造平屋建ての幼稚園で、周辺は、山や木々、茶畑に囲まれた、のどかな地域です。児童数が減少し、令和2年度は休園となります。

周辺の就学前施設の状況

令和元年5月1日現在

	名 称	定 員	在籍児童数
公立幼稚園	<b>椿幼稚園</b>	15	7
【幼稚園 計】		15	7
私立保育園	岸田保育園	90	71
	庄内青い鳥保育園	90	86
	ながさわ保育園	160	154
【保育所 計】		340	311
【周辺施設 計】		355	318

## 在籍児童数 小学校区別内訳(人)



## 8 公立保育所・公立幼稚園の役割と今後の方向性

公立保育所・公立幼稚園の役割と市内の子どもの人口、利用推移、公立保育所・公立幼稚園の現状等を踏まえた今後の方向性は、以下のとおりです。

### (1) 公立保育所・公立幼稚園の役割

#### ①子育て環境の整備

- ・すべての子育て世代の家庭が安心して子育てができる環境づくり

#### ②質の向上と関係機関との連携

- ・幼児教育・保育及び子育て支援の質の向上
- ・学校や保健所、その他の福祉教育機関等との連携
- ・保幼小の連携による、小学校との円滑な接続

#### ③多様化する教育・保育ニーズへの対応

- ・すべての児童が教育・保育を受ける権利の保障
- ・児童虐待等、子育て困難家庭に対する支援の充実

#### ④地域とのつながり

- ・安心して子育てができる地域環境づくり

#### ⑤私立の就学前施設との共存

- ・私立・公立の就学前施設の連携の充実

### (2) 公立保育所の今後の方向性

公立保育所の児童数は、少子化の影響を受けながらも、極めて緩やかな減少傾向にあります。

そのような中、公立保育所の果たす役割は、前項に記載のとおりであり、入所には就労等の要件は必須であるものの、特に多様化する教育・保育ニーズへの対応として、障がいや発達に課題がある児童や外国につながる児童に対する保育の充実という点で、大きな役割を果たしており、今後も更なる充実を図る必要があります。

また、令和2年4月に開所した西条保育所を「子育て支援総合拠点」として位置付け、公立保育所で初めての実施となる病後児保育事業や、公立保育所で3園目となる一時預かり保育を実施しています。

今後も引き続き、多様化している保護者ニーズの把握に努めるとともに、公立保育所が果たすべき役割を踏まえ、安心して子育てができる環境の充実を図ります。

### (3) 公立幼稚園の今後の方向性

公立幼稚園の児童数は、少子化の影響から緩やかな減少傾向にあります。さらに、幼児教育・保育の無償化の実施等により保護者ニーズが変化し、令和2年の児童数は大幅に減少しました。

そのような中、公立幼稚園が果たす役割は、先に記載のとおりであり、現状、公立保育所と同様、特に多様化する教育・保育ニーズへの対応として、障がいや発達に課題がある児童や外国につながる児童に対する教育の充実という点で、大きな役割を果たしており、今後も更なる充実を図る必要があります。

加えて、公立幼稚園に対するニーズ等を把握し、今後の公立幼稚園の方向性を検討することを目的に、公立幼稚園を利用する児童の保護者にアンケート調査を実施しました。その結果、「今後の公立幼稚園に求めること」(複数回答)の設問に対して、回答者数432名の内、「3年保育の実施」を選択した人は全体の約49%の210名、「預かり保育の実施」を選択した人は全体の約42%の180名、「今のままでよい」と選択した人は全体の約38%の163名という保護者のニーズを把握することができました。

「3年保育の実施」については、最もニーズが多く、平成28年3月に意見としてまとめられた「鈴鹿市立幼稚園の今後の在り方について」においても、3歳児の幼児教育の重要性についての意見が出されており、本市において実施についての検討を進めてきましたが、人員面や施設面を含め、受入れ体制が整っていないのが現状です。

そのため、「3年保育の実施」については、地域の実情、利用者数の推移や各施設の状況を勘案し、まずは公立幼稚園の集約化により人的配置を整える必要があることから、令和5年度末までに、国府幼稚園、旭が丘幼稚園、飯野幼稚園、玉垣幼稚園、神戸幼稚園等の5園を目途に集約化を図ります。

そして、集約化した全ての園で実施するのではなく、適正な実施時期や実施する園の検討を行うとともに、必要に応じ施設整備を行い、幼児教育・保育の充実に努めます。

なお、3年保育の実施の際には、「適正な規模の集団による幼児教育」を保障するため、「休園・廃園基準」の見直しを行います。

また、アンケートでニーズが多かった「預かり保育の実施」や「今のままでよい」という結果については、公立幼稚園が果たすべき役割を踏まえ、継続して検討を進めます。

#### (4) 公立での幼保一元化・認定こども園化

幼保一元化とは、幼稚園・保育所それぞれの機能を併せ持った一つの施設により、教育・保育を進めることや、幼稚園・保育所が同一敷地にあり、職員及び幼児の交流や、施設を相互活用しながら教育的観点から教育・保育を進めることです。

幼保一元化・認定こども園化については、「鈴鹿市公共施設等総合管理計画」(平成27年12月策定)に基づき、施設数の減少を図ることや、適正規模による教育を行うため今後必要になってくると考えられます。

しかしながら、全ての施設において、幼保一元化・認定こども園化を進めるのではなく、施設面や、地域の実情、各施設の事情を考慮し、幼保一元化・認定こども園化について、検討を進めます。

まずは、施設の老朽化が著しく、現在地での改修が困難である玉垣保育所と近隣の玉垣幼稚園において、幼保一元化をめざします。

## 9 施設整備のまとめ

「鈴鹿市公共施設等総合管理計画」において、「公共建築物の保有量（面積）の5%縮減」が計画期間内の目標として定められており、各施設の利用状況を踏まえつつ、長寿命化のための大規模改修、建替え等の施設整備を計画的、効率的に進めていきます。

保育所及び幼稚園における施設の築年数の内訳は、築年数50年以上が2施設、築年数40年以上が6施設、築年数30年以上が10施設で、全施設の約86%を築年数30年以上の施設が占めていることから、早急な施設整備が求められています。

また、施設の改修方法によっては、土地の買収や基本設計など、工事を含め4年以上必要な場合もあることから、迅速かつ計画的に施設の改修を進めていく必要があります。

加えて、本市の子どもの人口推計や各施設における利用者数の推移から、公立の就学前施設の利用については、特に公立幼稚園では急激な減少が見込まれており、私立を含めた周辺の就学前施設の状況を加味し、公立保育所、公立幼稚園の役割、ニーズや方向性、公立での幼保一元化・認定こども園化の考え方についても検討する必要があります。

施設整備については、これらの状況を踏まえつつ、本市の厳しい財政状況を鑑み、改修コスト削減の考えから、既存施設を活用した長寿命化改修<sup>※</sup>を原則的な施設整備の考え方とします。

ただし、駐車場の制限や仮園舎の建設が困難であるなど特別の事情がある場合には、施設の移転と建替えを検討し、建替え後の跡地については、「鈴鹿市公共施設等総合管理計画」に基づき、施設整備の財源に充てるため売却することとします。

なお、各施設の具体的な整備手法、整備時期については、建築年数だけでなく、老朽化の進行具合や、児童数の推移など様々な事情を考慮し、「鈴鹿市公共建築物個別施設計画」において示します。

昨今、幼児教育・保育を取り巻く環境は、大きく変化しており、国の子育て支援策や、社会情勢の変化、保護者のニーズに柔軟に対応していくため、今後の施設整備については、本市の状況等を踏まえ、地元や各関係機関と情報共有を図り、必要に応じて、随時本方針の見直しを行います。

※長寿命化改修：建物の機能や性能を改修時点で求められる水準より引き上げ、施設の性能向上が図られるような改修

公立保育所（10園）、公立幼稚園（11園）の施設整備一覧

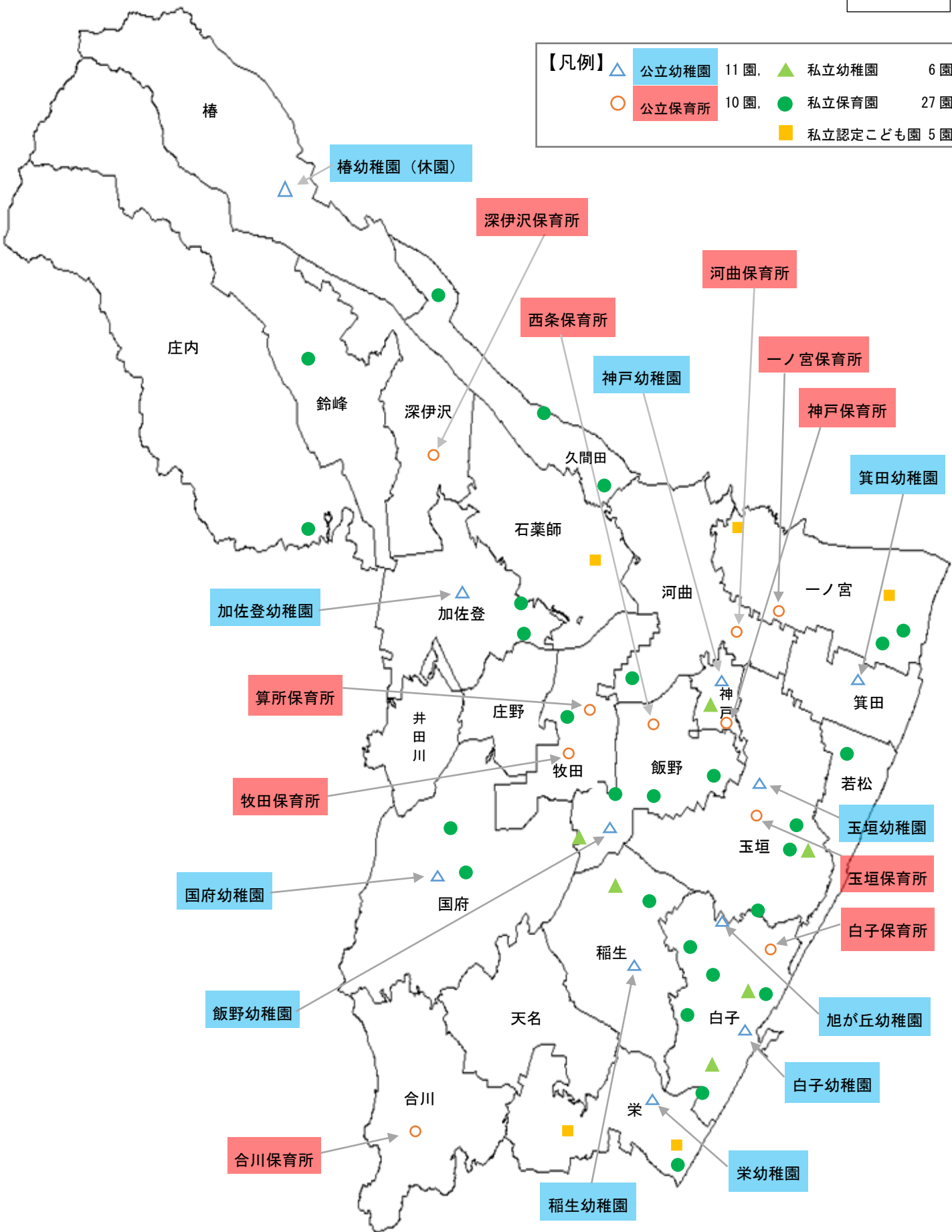
	施設名	建築年度	経過年数	構造	方向性
①	玉垣保育所	S43	51	木造	幼保一元化
②	神戸幼稚園	S44	50	木造	長寿命化
③	合川保育所	S47	47	鉄骨造	長寿命化
④	飯野幼稚園	S49	45	木造	長寿命化
⑤	算所保育所	S49	45	鉄骨造	長寿命化
⑥	深伊沢保育所	S50	44	鉄骨造	長寿命化
⑦	一ノ宮保育所	S53	41	RC造※	長寿命化
⑧	椿幼稚園(休園)	S54	40	RC造	統合
⑨	稲生幼稚園	S55	39	RC造	統合
⑩	白子保育所	S56	38	RC造	長寿命化
⑪	神戸保育所	S56	38	RC造	長寿命化
⑫	栄幼稚園	S56	38	RC造	統合
⑬	国府幼稚園	S56	38	RC造	長寿命化
⑭	加佐登幼稚園	S60	34	RC造	統合
⑮	白子幼稚園	S61	33	RC造	統合
⑯	玉垣幼稚園	S62	32	RC造	幼保一元化
⑰	牧田保育所	S62	32	RC造	長寿命化
⑱	箕田幼稚園	H1	30	RC造	統合
⑲	旭が丘幼稚園	H8	23	RC造	長寿命化
⑳	河曲保育所	H22	9	RC造	長寿命化
㉑	西条保育所	R1	0	鉄骨造	長寿命化

令和2年4月現在

※RC造：鉄筋コンクリート造

# 就学前施設の位置図 (令和2年4月現在)

資料







~~~~~  
鈴鹿市立保育所・幼稚園施設整備に関する基本方針

発行日 令和2年10月

発行元 鈴鹿市子ども政策部子ども政策課・子ども育成課

〒513-8701

三重県鈴鹿市神戸一丁目18番18号

TEL 059-382-7661, 059-382-7606

FAX 059-382-9054

<http://city.suzuka.lg.jp>

~~~~~